

授業科目	精神保健学				単位	4		
履 修	選択	関連資格	精神保健福祉士 養教一種免		ナンバリング	WE21515J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP4-3			
担当教員	今村 浩司							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本講義では、精神の構造と働き、ライフサイクルにおける精神保健、精神保健活動と精神保健対策治療的アプローチ、法律などについて解説する。その際、精神保健の全体像をパワーポイント、ビデオなどを用いて説明する。受動的講義だけでなく、精神保健福祉領域での相談援助や活動経験を有する実務家教員が、可能な限り具体的な事例等を提供していき、グループ・ワークによる演習・成果発表など積極的授業参加も組み込み、より学生の理解を深めるよう工夫する。</p> <p>なお、授業の運営方法については、ウェブ等を使用しての講義等にて実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神の構造と働きおよび、ライフサイクルにおける精神保健について理解し、内容を説明できる。</li> <li>2. それぞれの生活の場における精神保健と病理について理解し、内容を説明できる。</li> <li>3. 精神保健に関わる健康障害、精神保健活動と精神保健対策について理解し、内容を説明できる。</li> <li>4. 精神保健のアセスメント方法と治療的アプローチについて理解し、内容を説明できる。</li> <li>5. 精神保健及び福祉に関する法律について理解し、内容を説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	65	0	15	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	20		5				25	
知識・理解 (DP1-2)	25		5				30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20		5				25	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)						5	5	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
学生が到達すべき行動目標1. 2. 3. 4. 5. のいずれの項目も十分に達成できている。				学生が到達すべき行動目標1. 2. 3. 4. 5. のいずれの項目も一定のレベルで達成できている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	精神保健についての基礎知識 1:			講義		復習:配布した資料を確認しておく		30

	WHO 憲章の歴史的意義を解説し、精神保健の意義と課題を説明する。			
2	精神保健についての基礎知識 2: 精神保健の概要～保健と医療の役割分担と、わが国の保健・医療体制の特徴や課題について説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
3	精神保健と福祉の歴史 ～精神保健と福祉の歴史的変遷について概説する	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
4	ライフサイクルにおける精神保健: 胎児期・乳幼児期～子どもの心身の保健は母親の健康管理の問題、母子の愛着関係と密接に関連する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
5	ライフサイクルにおける精神保健:学童期 ～小学生時代の精神保健問題、いじめなどについて解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
6	ライフサイクルにおける精神保健:思春期 ～この時期の精神保健の中心課題であるアイデンティティ(自我同一性)の問題を中心に解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
7	ライフサイクルにおける精神保健:・青年期 ～思春期に引き続きアイデンティティの問題、生きる意味の追求等について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
8	ライフサイクルにおける精神保健: 成人期～成人期の特性について解説し、この時期の諸問題を説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
9	ライフサイクルにおける精神保健: 老年期:～成人期の特性について解説し、この時期の諸問題を説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
10	精神保健における個別課題への取り組み:精神障害対策 1～精神障害者対策の歴史を解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
11	精神保健における個別課題への 取り組み:精神障害対策 2 ～障害者総合支援法を中心に解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
12	2 精神保健における個別課題への 取り組み:(1)認知症について 解説し、認知症対策の実際と問題 点について説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
13	精神保健における個別課題への 取り組み:(2)アルコール依存 症に関連する諸問題について解 説し、対策について検討する。 (外部講師)	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
14	4 精神保健における個別課題への 取り組み:(3)違法薬物につい て解説し、薬物乱用防止対策を学 生各人に主体的に考えさせる。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
15	精神保健における個別課題への 取り組み:(4)事例を通して思 春期の精神保健上の問題を考え させ、対策について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30
16	精神保健における個別課題への 取り組み:(5)日常生活支援、 緊急時支援等の当事者を支える 各種の対策について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確認しておく	30

17	精神保健における個別課題への 取り組み:(6)癌の病名告知、 ターミナルケアにおける精神保 健問題等について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
18	精神保健活動の実際:(7)事例 を通して家庭をめぐる種々の精 神保健問題について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
19	精神保健活動の実際:(8) ～事例を通して学校における精 神保健問題について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
20	精神保健活動の実際:(9)～職 場におけるメンタルヘルスの推 進方法、連携について解説する。 (外部講師)	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
21	精神保健活動の実際:地域にお ける精神保健 ～精神障害者施 策の歴史と実際を解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
22	地域精神保健と地域保健:(1) ～地域精神保健福祉活動の主 体となる機関と実施される施 策について解説する。	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
23	地域精神保健と地域保健:(2) ～地域保健法の紹介とともに 母子保健法など地域保健施策 について述べる。	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
24	地域精神保健と地域保健:(3) ～地域保健法、母子保健法以外 の地域保健に関連する法律に ついて説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
25	地域精神保健と地域保健:(4) ～地域保健法、母子保健法以外 の地域保健に関連する施策に ついて説明する。	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
26	諸外国における精神保健:(1) ～歴史的背景のもとに、アメリ カの地域 精神保健の特徴を紹 介する。	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
27	諸外国における精神保健:(2)(3) ～歴史的背景のもとに、イギリ ス及びフランスの地域精神保健の特徴を紹 介する	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
28	諸外国における精神保健:(4)～諸外国の職場の精 神保健について概説する。 補習、質問:1～27 回の講義を通して疑 問点につい て質問を受け、説明の補習を行う。	講義	予習・復習:配布した資料を確 認しておく	30
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	精神保健学は精神医学的な基礎理解を必要とする場合があるので、「精神疾患とその治療」の科目を受講し この授業に臨む、もしくは在学中に受講をしていくことが望ましい。			

テキスト	精神保健福祉士の国家資格新カリキュラム移行との関係にて、教科書未定。(初講時にお知らせします)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に適宜資料を提示する。必要に応じてパワーポイント資料を配布する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義では、理解を深めるためにグループワークなどを実施する場合がある。 講義に関連した参考になる書籍を図書館などで探して読むと、さらに理解が深まる。 精神保健及び福祉に関連のある社会問題に関心を持ち新聞、テレビ等のマスコミ報道から最新の情報を入手するよう努めてほしい。
達成度評価に関するコメント	授業貢献度・授業課題レポート、定期試験をもって総合評価する。総合評価の比率は上記に示している。 授業課題レポートに関しては、授業の中で指示する。